

東京都立小石川中等教育学校（小林正基校長）に通う5年生有志が、倫理の授業で作成した4コマ漫画を基に、哲学者

の思想を分かりやすく伝える図書の制作を進めている。7月に代表の6人が都内の出版社で企画をフ

レゼン後、1時間以上にわたり出版に向けた質問を社員に投げ掛けた。夏休みに

間いに向き合い、自分なりの答えを導く経験を重ねた結果、哲学的思考に興味を抱いた生徒たち。1年間のまとめとして、授業で学んだ哲学者を選んで、4コマ漫画で思想の特徴を端的に表現した。

出版社で企画をプレゼン

授業を通じて倫理に興味を持った5年生が集まり、本年度、哲学の入門書出版を目標とする委員会を立ち上げた。顧問は、同校で倫理の授業を担当する白井裕輔教諭（公民科）。

きつかけは、4年次に行った倫理の学習活動だ。白井教諭の授業では、単元の冒頭で哲学的な問いを考える「深思考」の時間があり、意見をリポートにまとめて提出する。

「正義とは何か」「存在しているものと認識しているものは同じか」といった

「プラトンはレスラー」興味引く

委員会で話し合いを重ね、地歴科などの教科書を多数読んだという清水書院（東京・千代田区）に出版企画を持ち掛けた。過去には白井教諭も仕事で関わった縁がある。生徒たちは校内で検討した企画書を担当者へ送り、今回の訪問が実現した。

プレゼンのために、一人の哲学者（プラトン）に関する内容をまとめ、原稿の見本として持参。一般書も参考に、同世代に興味を持つもらえるよう「実はレスラーだったらしい」という販を織り交ぜた。

完成度の高い4コマ漫画の吹き出しの中に説明文を入れるレイアウトは、読者の目を引くことから、同社

哲学の入門書作りに挑戦



清水書院の担当者から話を聞く「哲学入門書出版委員会」の生徒たちと白井教諭（右奥）

4コマ漫画を通して楽しく学ぶ

小石川中等教育学校 〇三・3946・7171